Sankyo

EM-30XL
EM-30

エレクトロニックシステム スーパー8

取扱い説明書

サンキョウ・エレクトロニックシステム・スーパー8カメラEM-30XL/EM-30をお買い上げ頂き、有難うございました。電磁レリーズの装備により、別売りの豊富なアクセサリー群と組み合わせてシステムカメラとして多用途にお使い頂けるカメラです。ミニサイズですから、旅のお供にも理想的です。

〔特　長〕

- 別売りのシステムアクセサリーとして、ラジオコントロール、セルフタイマー、ユニバーサルタイマー、リモートコントロールなどがあります。
- ローライト仕様ですから、通常の室内採光条件のもとで、ムービーライトを使わずに明るくシャープな画像を撮影することができます。(EM-30XLのみ)
- マクロズームレンズを使用していますので、アタッチメントなしで超近接撮影ができます。
- 小型・軽量で使い易さも抜群です。

良いフィルムを作るには、何よりもカメラの機能を理解し、カメラに慣れて頂くことが大切です。本取扱い説明書を、ぜひ、最後までお読みください。

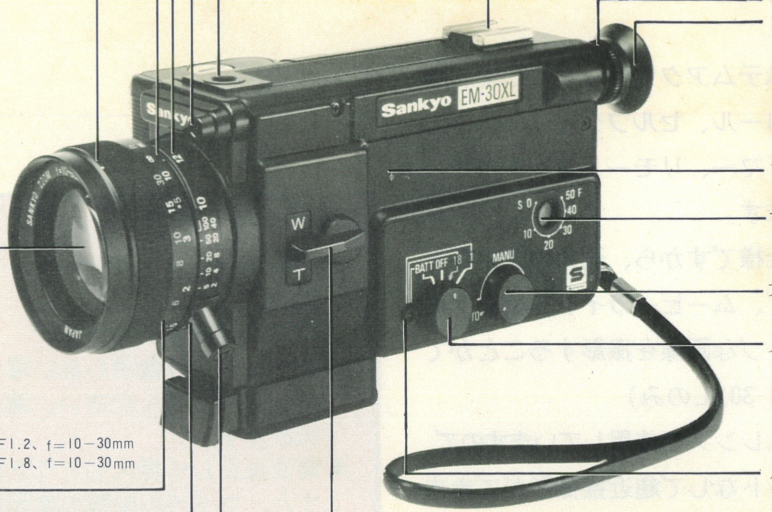
必ず守ってください

- 撮影時以外はメインダイアルをOFFにしてください。
  電池の消耗を防ぎます。
- 長くカメラを使用しない場合は、電池をはずしておいてください。漏液による汚損を防ぎます。
- 電池は正しく挿入してください。間違えますと、カメラの故障の原因になります。
- カメラ前面のCdS受光窓をさえぎらないようにご注意ください。

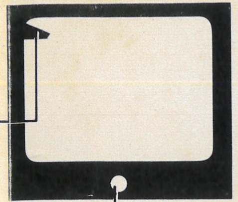
目　次

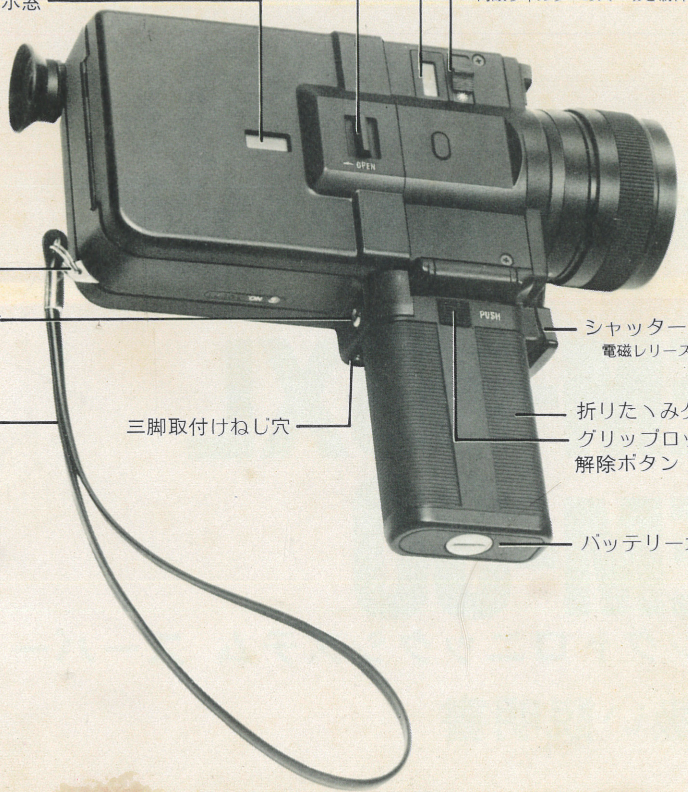
各部の名称……表紙見開き
撮影操作手順……2
基本操作
1．電池の入れ方……4
2．電池電圧のチェック……5
3．フィルムの着脱……5
4．露出の調節……7
5．視度調節……9
6．ピントの合わせ方……10
7．シャッターの操作……11
8．ズーミング……11
9．フィルタースイッチの使い方……12
10．1コマ撮影……13
11．マクロ撮影……14
12．リモートコントロール撮影……16
13．三脚の取付け方……17
撮影技法……18
被写界深度表……24
仕様……26
お手入れと保存……27
アクセサリー……27
EMトータル接続図……28
アフターサービスのご案内……29

各部の名称



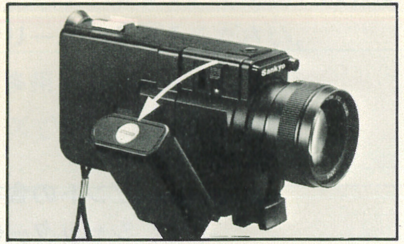
ファインダー内表示



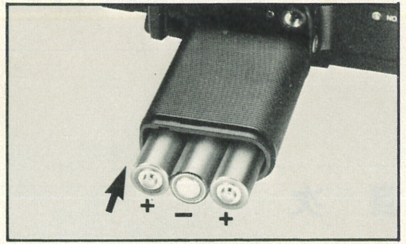


撮影操作手順

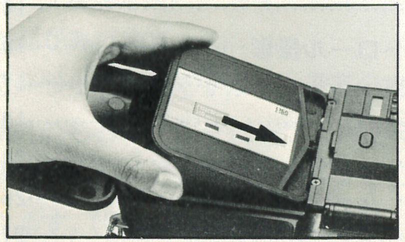
標準撮影位置は緑色で表示されています。撮影前に“グリーン・チェック”をしましょう。



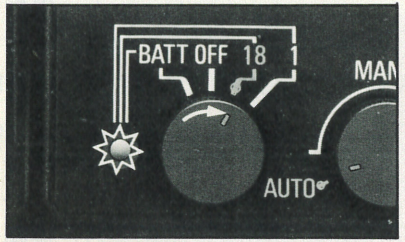
1 グリップを起こします。
(P.4参照)



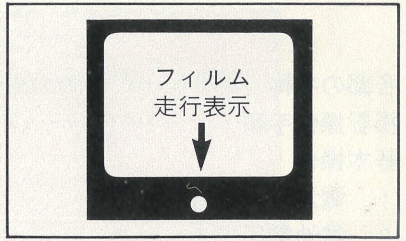
2 電池を入れてください。
(P.4参照)



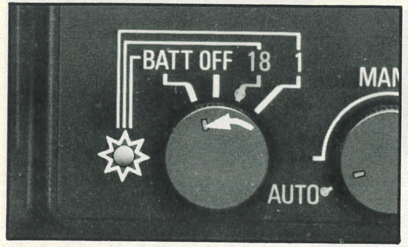
6 フィルムカートリッジを入れます。(P.5参照)



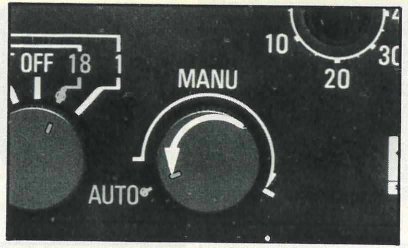
7 メインダイアルを“18”にします。



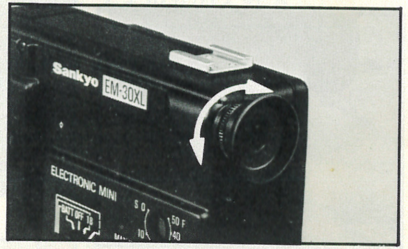
8 フィルム送りを確認しましょう。(P.6参照)



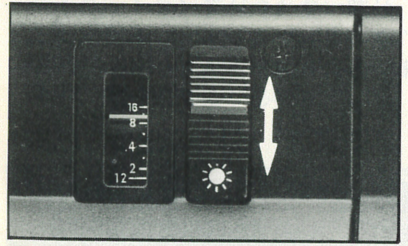
3 電池電圧をチェックします。
(P.5参照)



4 絞りダイアルを“AUTO”にします。(EM-30XLのみ)

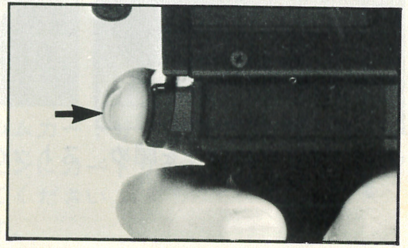


5 視度調節をしましょう。
(P.9参照)



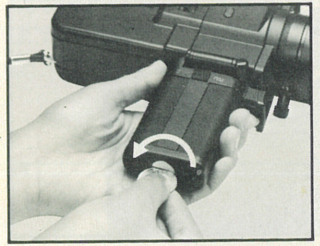
9 フィルタースイッチの位置を確認します。
(P.12参照)

10 ピント合わせをします。
(P.10参照)

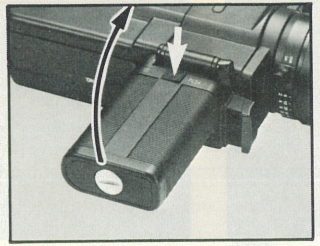


11 シャッターボタンを押し、撮影を開始してください。

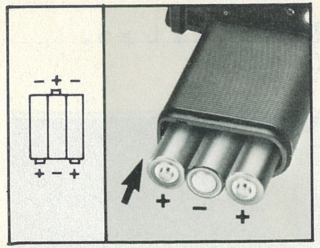
1 電池の入れ方



①コインなどで、グリップ底部のバッテリーカバー・ストッパーを“0”の位置へまわします。
②バッテリーカバーをはずします。



バッテリーの挿入は、グリップを起した状態でも折りたゝんだ状態でもできます。グリップを起こすには、ロックする位置まで外側に開いてください。折りたゝむ時は、グリップロック解除ボタンを押しながら倒してください。

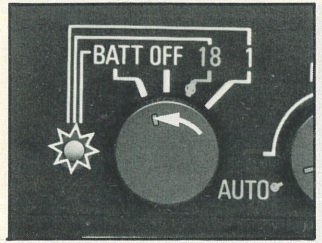


③グリップに表示された⊕⊖の指示に従って単3乾電池3本を入れます。
アルカリマンガン乾電池(AM3)の使用をおすすめします。

④バッテリーカバーを閉め、ストッパーを“C”の位置へまわしてください。

＊電池は⊕⊖の表示に合わせて正しく挿入してください。間違えますと、電池の消耗を早めたり、カメラの故障の原因になります。
＊撮影時以外は、メインダイアルを“OFF”に……これを習慣にしてください。電池の消耗を防ぎます。

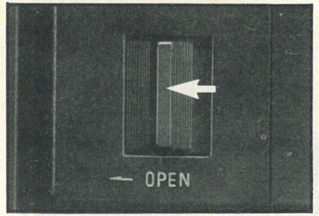
2 電池電圧のチェック



①メインダイアルを“BATT”にしてください。
パイロットランプがつけば電圧は十分です。
②手を離せばメインダイアルは自動的に“OFF”の位置に戻ります。
パイロットランプがつかない時は、新しい電池と交換してください。メインダイアルを“BATT”にまわした瞬間だけランプが点灯することがありますが、この場合も、電池の交換が必要です。

＊バッテリーは使用時に必ずチェックしてください。
＊寒冷地では、新しい電池でも電圧が不足することがあります。バッテリーを取り出して体温などで暖めてください。
＊シャッターボタンを押しながらメインダイアルをまわさないでください。

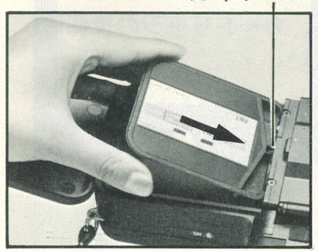
3 フィルムの着脱

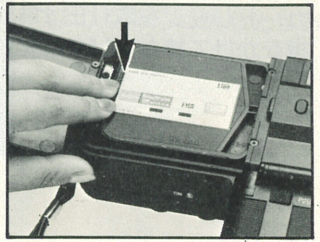


フィルムの入れ方

①横ぶた開閉つまみを後方へスライドさせながら横ぶたを開きます。(←OPEN)

ガイドピン

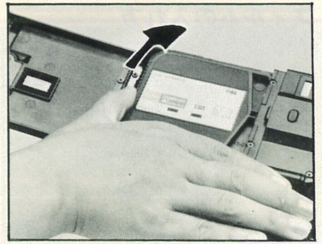




②スーパー8フィルムカートリッジを入れてください。
カメラのガイドピンにカートリッジのガイド溝を合わせ、上から押してください。
③横ぶたを閉めます。
フィルム感度は自動的にセットされます。

フィルムを入れたら、横ぶたを完全に閉めてからシャッターボタンを押してください。

フィルムの取り出し方



カートリッジを取り出す時は、カートリッジの後側に指をかけて持ち上げてください。

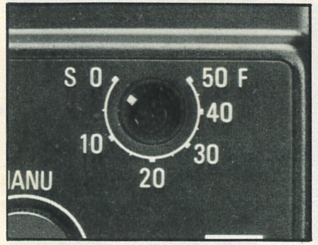
フィルム走行表示

シャッターボタンを押すと、ファインダー内の丸窓が連続的に開閉され、フィルムが正しく送られていることを知らせます。この丸窓の開閉が停止した時は、フィルムが終了したか、正しく送られていないかのどちらかです。

フィルム走行中	丸窓連続開閉
フィルム終了	動き停止
フィルム走行不良	動き停止

フィルム装塡が確実でない場合は、丸窓の動きは見られません。このような時は、カートリッジを入れ直してください。

フィルムカウンター



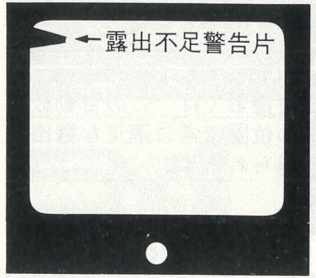
フィルムカウンターの指標が撮影中のフィルム使用量を知らせます。カートリッジをはずすと、指標は自動的にゼロの位置に戻ります。

フィルムが終了する前に、カートリッジをカメラから取り出すと、そこでカウンターが0に戻ります。残りのフィルムを使用する場合、フィルムカウンターの指標は実際のフィルム使用量に合致しませんので、ご注意ください。また、フィルムカウンターの指標が"50"まで行かないのにフィルム走行表示の動きが止まった時は、カートリッジに異常があるか、カメラの故障が考えられますので、カメラ店で調べてもらってください。

4 露出の調節

EM-30をお買い上げのお客様へ

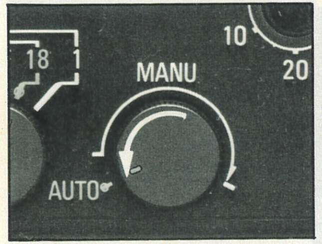
カメラ前面のCdS受光窓を通して測光し、内蔵の自動絞り機構で常に適正な露出が得られますので、絞りを調節する必要がありません。



光量不足で露出アンダーの画像になり易いような場合には黒色警告片が、ファインダー内左上に出ます。このような時には補助光をお使いください。

EM-30XLをお買い上げのお客様へ

自動絞りの他に手動絞りもできますので、場合により、次のように操作してください。



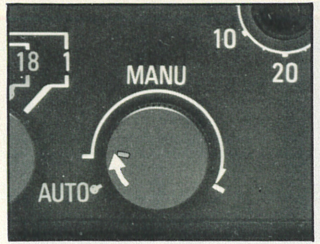
自動絞り（AUTO）

●絞りダイアルを"AUTO"にセットしてください。一般撮影では、この自動絞りの位置で常に適正な露出が得られます。

露出警告と対策

露出不足	露出過度
ファインダー内左上に警告片(黒)が出ます。	F値表示窓の指針が上部赤色領域に入ります。
人工光使用	NDフィルター使用、フィルターサイズ 52mm

手動絞り(MANU)



●"MANU"の範囲で絞りダイアルをまわし、F値表示の指針を見ながら好みの絞り値に合わせます。

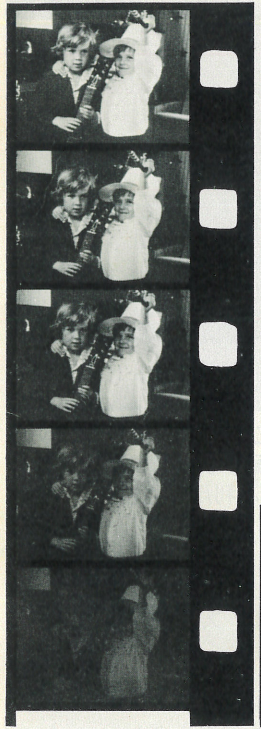
特殊な効果をねらったり、逆光撮影や被写体と背景とのコントラストが強い場合には、この手動絞りで適切な露出を選んでください。

手動絞りで正確な露出を得るためには

①絞りダイアルを"AUTO"に合わせます。
②カメラを被写体に近づけ、F値表示目盛でF値を読み取ってください。
③元の撮影位置に戻り、絞りダイアルを手動にして、読み取った値に合わせます。

> 手動絞りの撮影が終ったら、忘れずに絞りダイアルを"AUTO"に戻してください。次の撮影の時に、自動絞りが働かず、思わぬ失敗をすることがあります。

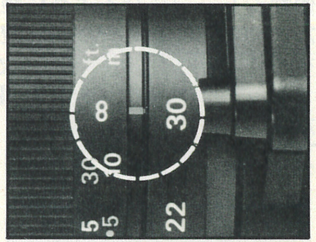
フェードイン・フェードアウト



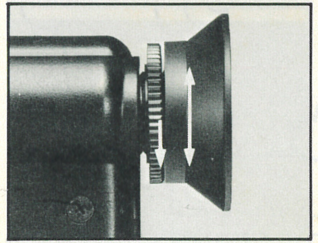
フェードアウト

この手動絞りを使って、フェードイン・フェードアウト効果を出すこともできます。まず、前述の手順に従って手動で正しく絞りをセットし、次に、絞りダイアルを希望のフェード速度に応じて反時計方向いっぱいまでまわします。これで画面が次第に暗くなり、フェードアウトします。フェードインする時は、この位置から時計方向にまわし、指標が被写体に合った絞り位置に達した所で止めてください。

5 視度調節



①ズームリングを最望遠"30"mmにセットします。
②距離調節リングを無限大"∞"にセットします。



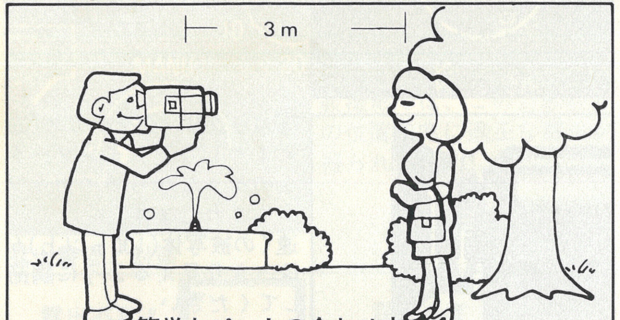
③ロックリングをゆるめ(左まわし)、ファインダーをのぞきながらアイカップをまわします。
遠くの被写体(100m以上)がはっきり見えるように調節してください。

④調節後アイカップが動かないように押さえながらロックリングを締め付けてください。(右まわし)

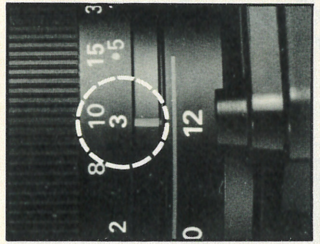
> 視度調節はピント合わせの精度に影響しますので、確実に行ってください。

6 ピントの合わせ方

このカメラのピント合わせは空中像方式ですから、ファインダーをのぞきながら画像がシャープになるように距離調節リングをまわしてください。この時は、必ず最望遠側(30㎜)でピント合わせをしてください。その他、次のような簡単なピント合わせの方法がありますので、撮影の状況に従ってご利用ください。



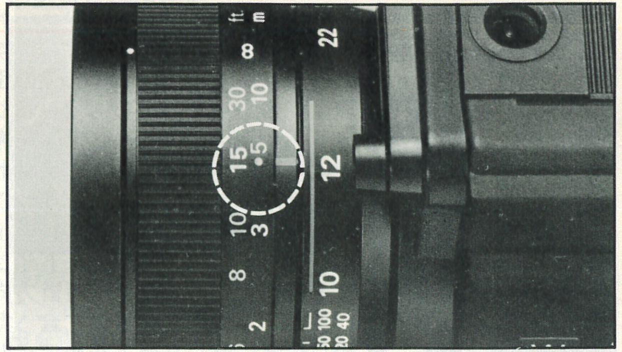
簡単なピントの合わせ方



実測または目測による距離合わせ

①カメラ(φマーク)と被写体間の距離を測定します。
②距離調節リングをその値にセットしてください。

ユニバーサルフォーカシング

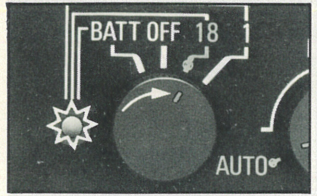


●距離調節リングを緑色の丸印(・)にセットしてください。
被写界深度を利用した方法で、この場合、被写体の明るさはF5.6以上必要です。記録映画その他で、距離合わせの時間がない時には、この方法をご利用ください。

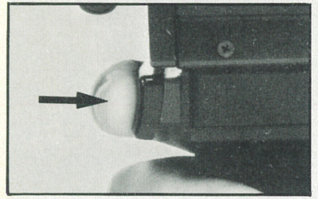
レンズを最望遠側にセットすると被写界深度の関係でユニバーサルフォーカシングは使えません。
ユニバーサルフォーカシングには、ズームリング上に緑色の線で表示した焦点距離をお使いください。

7 シャッターの操作

通常撮影



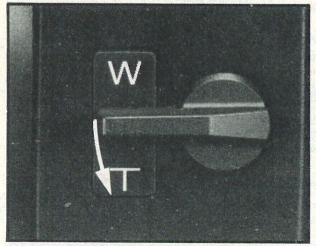
①メインダイアルを"18"にセットしますと、パイロットランプが点灯します。



②シャッターボタンを押してください。

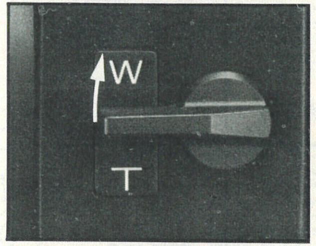
＊メインダイアルが"OFF"以外の位置にある場合、パイロットランプは点灯しています。
＊メインダイアルを"OFF"にすれば、すべての電源が切れます。
＊撮影中にメインダイアルを動かすと、フィルムが破損する場合がありますのでご注意ください。
＊フィルムが入った状態でシャッターボタンを小刻みに繰り返し操作することは絶対に避けてください。フィルム送り不良の原因になります。

8 ズーミング



オートズーム

①被写体を連続して近づける(ズームアップ)には、オートズームレバーを"T"側に押し下げます。



②被写体を連続して遠ざける(ズームバック)には、オートズームレバーを"W"側に押し上げます。

オートズームはカメラを駆動しながらでないとできません。

手動ズーム

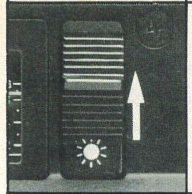
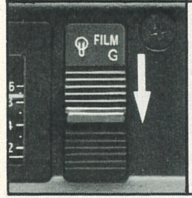
●ズームレバーによってズームリングをまわします。

9 フィルタースイッチの使い方

カメラに内蔵されたタイプＡフィルター（タイプＡカラーフィルム用色補正フィルター）を解除するスイッチですが、フィルムカートリッジと自動的に連動していませんので、使用するフィルムにより切替える必要があります。

☀……フィルターが入ります。

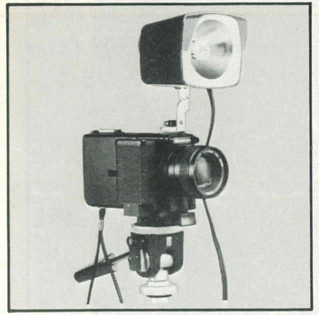
💡FILM G……フィルターが解除されます。

フィルタースイッチ	ライティング	使用フィルム
	●太陽光 ●螢光灯 ●ブルーライト	ディライトフィルム タイプA タイプG
	●タングステン電球 ●ムービーライト	タイプA タイプG

タイプGフィルム

タイプGフィルムはライティングに関係なくフィルターなしで使用できるオールライトフィルムです。このフィルムを装塡した時には、フィルタースイッチを💡FILM G位置にセットしてください。

ムービーライト



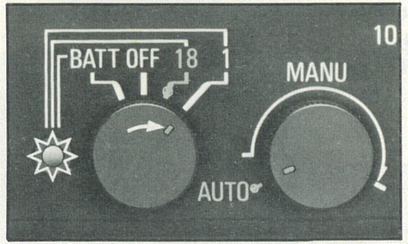
ムービーライトをムービーライトソケットに取り付けた場合、フィルターは自動的に解除されます。フィルタースイッチを操作する必要はありません。

ブラケット等を使用して、ムービーライトソケット以外のところへムービーライトを取り付けた時は、フィルタースイッチを💡FILM Gに切替えてください。

- ●ムービーライトを使用する場合には、ランプの熱でボディーが変色したり変形することがあります。十分離してお使いください。
- ●アクセサリーシューにムービーライトを取り付けると、ボディーの変形、変色のおそれがあります。

10 1コマ撮影

タイトルやアニメーションその他、時間の経過を短縮して見せる映画（生物の成長、開花など）に使用すると効果的です。



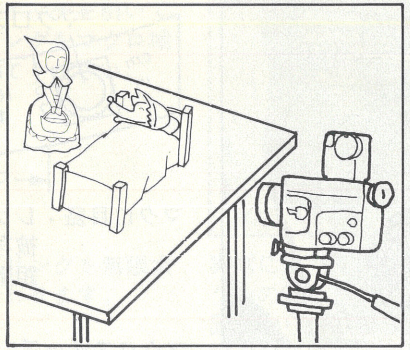
①メインダイアルを“１”に合わせてください。

・パイロットランプが点灯します。

②絞りダイアルを“AUTO”にセットします。(EM-30XL)

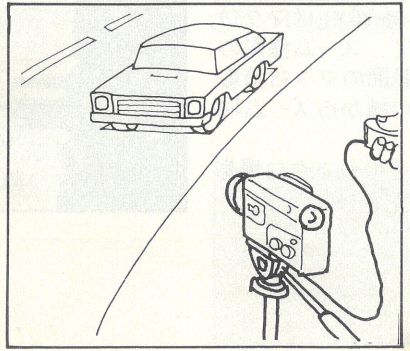
③シャッターを押してください。

ユニバーサルタイマーと組み合わせて



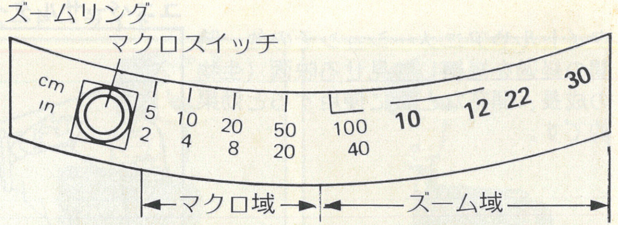
専用アクセサリーとして、“ユニバーサルタイマー”(別売り)が用意されています。これを組み合わせれば、１コマの間隔を0.5、2、15または60秒にセットすることができ、自動的に１コマ撮影が行われます。詳しくは“ユニバーサルタイマー”の取扱い説明書をご覧ください。

リモートコントロール、ラジオコントロールと組み合わせて



直接シャッターを押すかわりに、“リモートコントロール”(別売り)、“ラジオコントロール”(別売り)で、１コマ撮影を行うこともできます。詳しくはそれぞれの取扱い説明書をご覧ください。

11 マクロ撮影

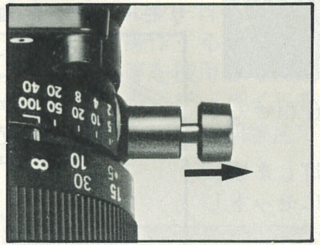


マクロ目盛：レンズ面から被写体までの距離　ズーム目盛：レンズ焦点距離

小さなもの、微細な動きなどを、超接写で画面一杯に撮影することをマクロ撮影と云います。EM-30XLはマクロ・ズームレンズを使用しておりますので、ズーム撮影の他に、レンズ前面から5cm～150cmの範囲のマクロ撮影ができ、ズーム域からマクロ域、マクロ域からズーム域への連続撮影も可能です。

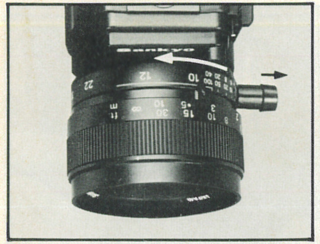
タイトル作り、スーパーインポーズ、その他マクロ撮影の応用技法については21、22頁をご覧ください。

マクロスイッチ

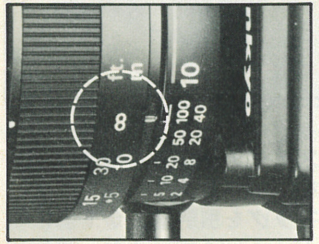


マクロスイッチを引き出しながら、ズームリングをマクロ域にまわすと、マクロ撮影状態となります。ズームリングをズーム域に戻すと、スイッチは自動的に解除されます。

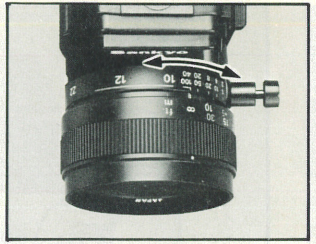
マクロ撮影操作



①マクロスイッチを引いてズームリングをマクロ域にまわしてください。



②距離調節リングを無限大“∞”に合わせます。



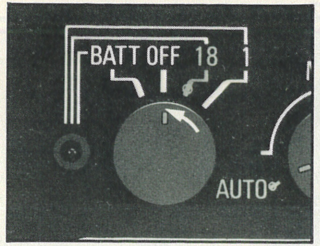
③ズームリングをまわし、ピントを合わせましょう。

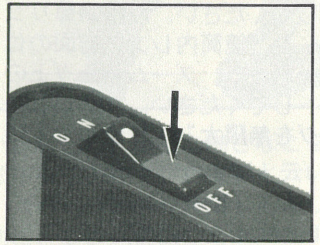
これはマクロ撮影を最も良い条件にするためで、マクロから一般撮影へ連続して撮影する場合は、これにこだわらず、一般撮影に入った時の被写体の距離にあらかじめ合わせておいてください。

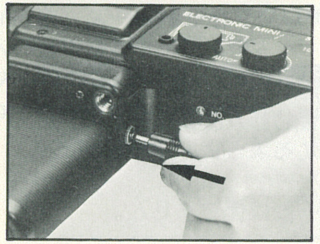
実測によって距離合わせをしてください。距離調節リング上のオレンジ色の“●”マーク（鏡筒内レンズ前面の位置）から被写体までの距離を測って、ズームリング上のマクロ目盛をその値にセットしてください。マクロ目盛上の距離値は距離調節リングを無限大“∞”に合わせた時のマクロ撮影距離です。

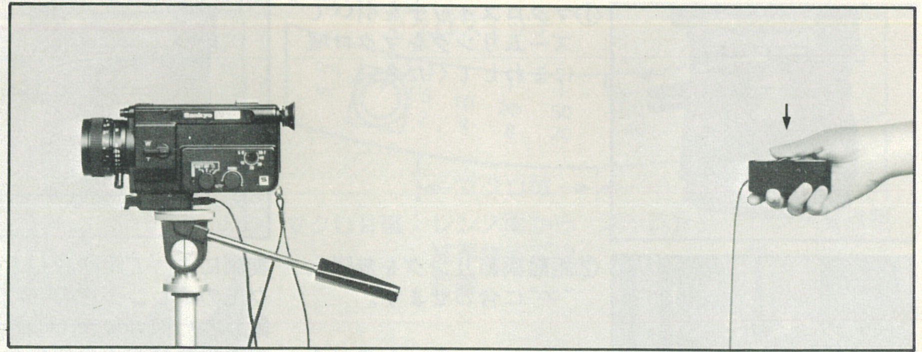
＊マクロ撮影では被写界深度（P.25参照）が浅くなりますので、正確な距離合わせが必要です。
＊F 4以上の小絞りを使えるように、照明は明るくしてください。
＊マクロ域ではオートズームは働きません。

12 リモートコントロール撮影









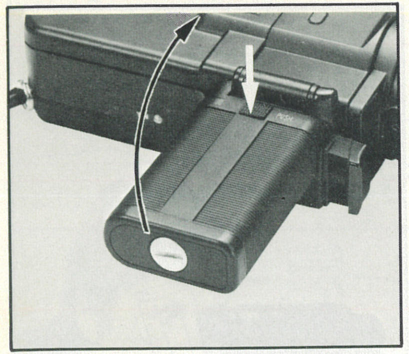
①カメラのメインダイアルをOFFにします。
②リモートコントロールのスイッチをOFFにします。
③リモートコントロールのプラグを電子制御アクセサリーソケット(RC)に差し込みます。
④カメラのメインダイアルを"18"に合わせます。(1コマ撮影時は"1"に合わせます。)
⑤リモートコントロールのスイッチをONにしてください。(撮影開始)

撮影が終ったら

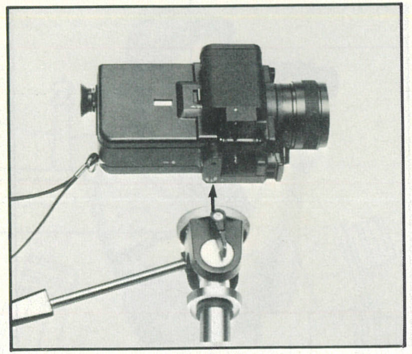
- リモートコントロールのスイッチをOFFにします。
- カメラのメインダイアルをOFFにします。
- リモートコントロールのプラグを引き抜きます。

メインダイアルを"18"または"1"にしたままでプラグの着脱を行いますと、シャッターが瞬間的に作動してしまいますので、ご注意ください。

13 三脚の取り付け方



● ボタンを押してグリップを折りたたみます。

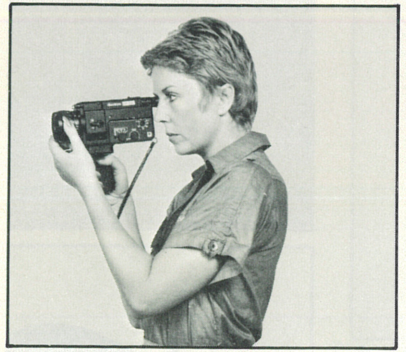


● ボディ底部の三脚取付けネジ穴に三脚を取り付けてください。

望遠および近接撮影、リモートコントロール撮影、1コマ撮影、また、ラジオコントロール、ユニバーサルタイマー、セルフタイマーなどを使用して撮影する時には、必ず、三脚をご使用ください。

撮影の技法

1 カメラはしっかり構えましょう。

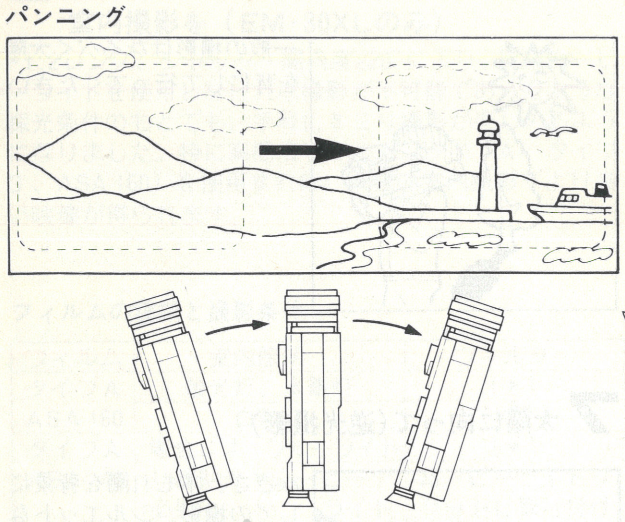


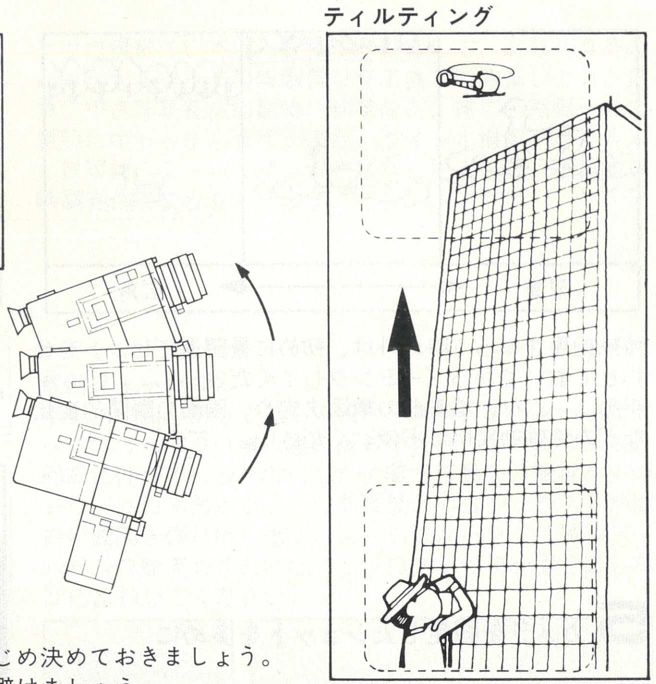
- ひじを胸につけると安定します。
- リストストラップを手首にはめましょう。
- 特に望遠側で撮影する時は、手振れで映写画面が見にくくなりますから三脚等を利用しましょう。

2 1カットの撮影時間は少なくとも10～15秒に

- 短いと落ち着きのない画面になります。
- 長めに撮影しておくと、フィルム編集も容易になります。

3 パンニングは左右に、ティルティングは上下にカメラを移動させて撮影する技法です

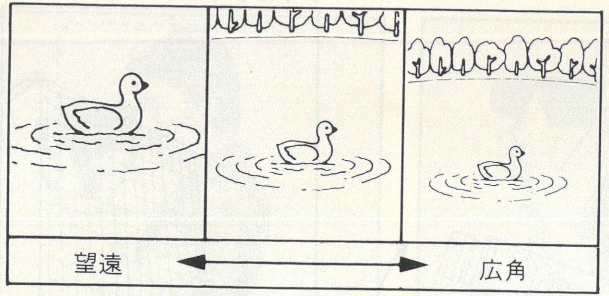




1. スタート：最低3秒静止
2. パンニング、ティルティングはゆっくりと
3. ストップ：最低3秒静止

- どこからどこまで撮影するか、あらかじめ決めておきましょう。
- パンニング、ティルティングの往復は避けましょう。
- 目的の場面をとらえたら、3秒位静止させましょう。
- 早いパンニング、ティルティングは画面のチラツキを起こします。

4 ズーミングはオートズームでなめらかに

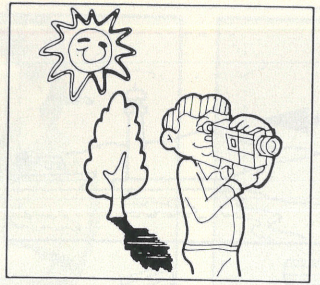


特殊効果をねらう時以外は、初めに最望遠でピントを合わせておいてからズーミングしてください。
手動ズームは、撮影前の構図決定や、画面の瞬間的変化などの特殊効果用にお使いください。

5 カメラを固定したショットを多めに

パンニング、ティルティング、ズーミングなどは撮影の目的によっては効果を発揮しますが、あまり多すぎると落ち着いた画面が得られません。

6 太陽を背にして(順光撮影)



一般の撮影はなるべく太陽を背にして行ってください。

7 太陽に向って(逆光撮影)

なぎさ、木もれ陽を背景にしての撮影、シルエットなど、逆光で特殊な美しさをねらってください。

8 低採光カメラとしての機能をフルに生かして室内撮影を（EM-30XLのみ）

F1.2レンズ、シャッター開角度220°により、従来ムービーライトを使用しなければ撮影が不可能であったような採光条件のもとでも、手軽に8ミリ撮影が楽しめるようになりました。特に高感度フィルム（タイプA、タイプG、ASA 160）を使用すれば、大低の室内撮影でより良い映像が得られます。

フィルムの種類と撮影条件

フィルム	室内照明		フィルター
タイプA ASA 160	螢光灯、水銀灯		(☀)
	白熱灯		(FILM G)
タイプA ASA 40	場合により補助光必要	ブルーライト	(☀)
		ムービーライト	ムービーライトソケットに取り付けることにより自動切換
タイプG ASA 160			(FILM G)

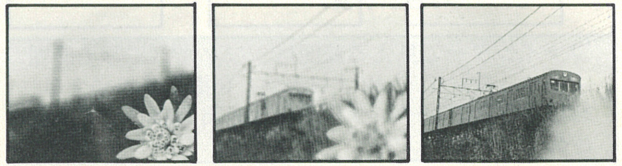
●暗い所では被写界深度が浅くなり、ピンボケになりやすいので、しっかりとピントを合わせてください。

9 マクロ撮影には工夫の楽しさがあります

マクロ撮影のいろいろな技法を駆使して、あなた自身のパーソナルタッチの映画作りを工夫してみましょう。昆虫、小さな草花、印刷物、切手など、何でも画面一杯に克明にキャッチします。また、タイトル撮影、タイトルと被写体のスーパーインポーズなどによって、本格的な映画を作ることができます。

移動フォーカス

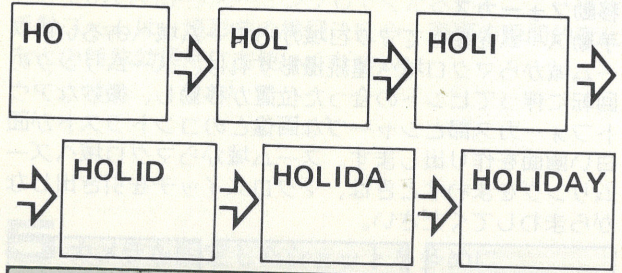
手動ズームを使ってマクロ域からズーム域へあるいはズーム域からマクロ域へ連続撮影すれば、ズームリングの回転に伴ってピントの合った位置が移動し、微妙なアウトフォーカス部とシャープな画像とのコントラストが面白い画面を作り出します。ズーム域からマクロ域へズームリングをまわすときは、マクロスイッチを引き出しながらまわしてください。



タイトル撮影

● 写真、絵はがき、トレーシングペーパーなどにタイトルを書き込みマクロ撮影をすれば、簡単にタイトルが出来上ります。十分な照明が必要ですから注意してください。

● また、1文字ずつ書き加え、そのたびに4秒ほど写して行くと、大変面白いタイトルになります。最後の文字を書き入れたら、そのまま7秒位撮影してください。



ファインダーで見える範囲は、フィルムに写る範囲よりやゝ狭いので、絵はがきなどを撮影する場合は、絵はがきがファインダーからはみ出る感じに距離をきめてください。

マクロ・スーパーインポーズ

ガラスや透明のセロハン紙などにタイトルを書き、後のシーンと重ね撮りをすると、面白い効果が得られます。

a. "マクロ撮影操作"(P.15)で述べてあるように距離調節リングを無限大(∞)に合わせる代りに、予め、ズーム域に入ってからの被写体に合わせておいてください。

b. 透明なタイトル・シートをカメラから約5cmのところに据えてください。

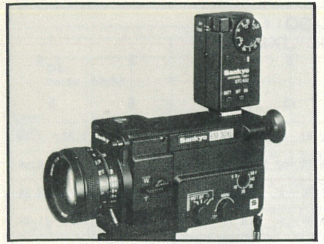
c. 始めにマクロ域5cmのところで5秒ほど写します。タイトル文字がはっきり写り、背景のシーンはぼやけて見えます。次にズームリングをゆっくりと広角にまわしますと、ズーム域にある被写体に次第にはっきりピントが合います。

d. 広角から更に望遠までズームしてください。

e. 上記の手順を逆に行うこともできます。

10 専用アクセサリーを使用して

ユニバーサル・タイマー



別売りのサンキョウ専用アクセサリー"ユニバーサルタイマー"は最新のIC技術を駆使して設計されたコンパクトなアクセサリーで、本機と組み合わせて次のように4通りの使い方ができます。

セルフタイマーとして

● 待ち時間：10秒

● 撮影時間：10秒または5秒選択可能

インターバルタイマーとして

● 選択した間隔で自動的に1コマ撮りができます。

● 撮影間隔：0.5、2、15、60秒選択可能

プリセットタイマーとして

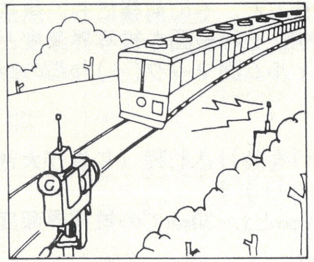
● 予め選択した時間だけ撮影して自動的に停止します。

● プリセット時間：4または15秒選択可能

アニメーションタイマーとして

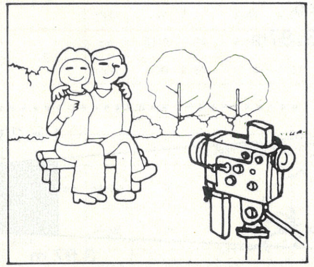
● 通常の1コマ撮り、および、連続4コマ撮りができます。

● アニメ制作に便利です。



ラジオコントロール

● ラジオコントロール（無線遠隔制御）は生物の生態などを撮影するのに便利です。



セルフタイマー

● ユニバーサルタイマーの他に、セルフタイマー専用のユニットも別売りアクセサリーとして用意されておりますので、用途に応じてお選びください。

詳しくはそれぞれのアクセサリーの取扱い説明書をご覧ください。

被写界深度表

ある被写体にピントを合わせると、その前後にも、焦点が合っている範囲があります。この範囲を被写界深度といいます。表中の距離はフィルム面マーク(ϕ)からの距離です。

〈参考〉

焦点距離が短い程、また絞りを絞り込む程（F値が大きくなる)、被写界深度は深くなります。

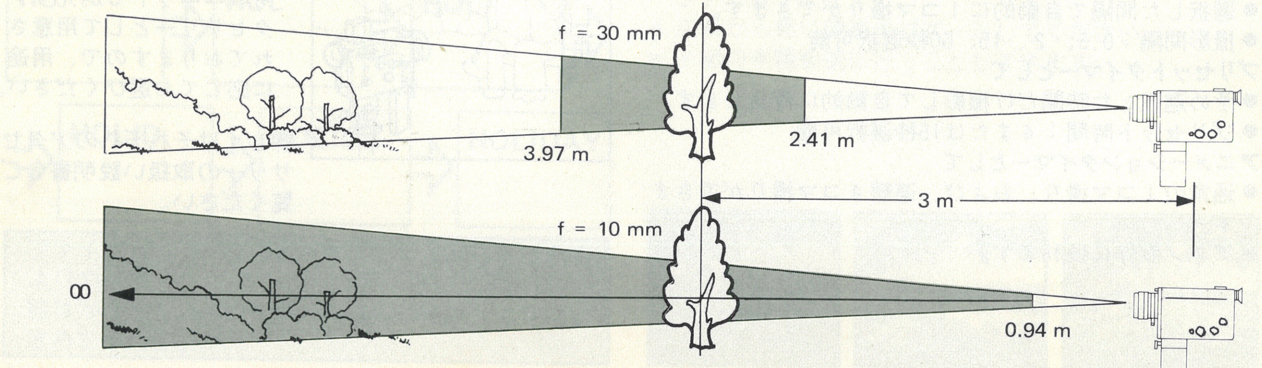
例：絞りF5.6の場合、f＝10mmとf＝30mmでの被写界深度を比較してみましょう。

f＝10mm　0.94m－∞

f＝30mm　2.41m－3.97m

EM-30XL/30 f＝10

Aperture \ Distance							
	Meter	∞	10	5	3	2	1.5
	Feet	∞	30	15	10	6	5
1.2	Meter	6.41～∞	3.91～∞	2.81～22.73	2.04～5.64	1.52～2.91	1.22～1.96
	Feet	21.03～∞	12.36～∞	8.76～52.31	6.78～19.07	4.67～8.40	4.04～6.56
2.8	Meter	2.72～∞	2.14～∞	1.76～∞	1.43～∞	1.15～7.56	0.97～3.34
	Feet	8.92～∞	6.88～∞	5.59～∞	4.72～∞	3.59～18.32	3.20～11.37
5.6	Meter	1.36～∞	1.20～∞	1.07～∞	0.94～∞	0.81～∞	0.71～∞
	Feet	4.46～∞	3.88～∞	3.44～∞	3.09～∞	2.56～∞	2.36～∞
16	Meter	0.48～∞	0.46～∞	0.44～∞	0.41～∞	0.39～∞	0.36～∞
	Feet	1.58～∞	1.50～∞	1.43～∞	1.36～∞	1.25～∞	1.20～∞



EM-30XL/30 f＝12

Aperture \ Distance							
	Meter	∞	10	5	3	2	1.5
	Feet	∞	30	15	10	6	5
1.2	Meter	9.32～∞	4.80～∞	3.24～10.91	2.26～4.44	1.64～2.55	1.29～1.79
	Feet	30.28～∞	15.07～∞	10.03～29.72	7.52～14.93	5.01～7.48	4.29～5.99
2.8	Meter	3.92～∞	2.81～∞	2.20～∞	1.70～12.82	1.32～4.09	1.08～2.43
	Feet	12.87～∞	9.01～∞	6.93～∞	5.63～44.85	4.09～11.24	3.60～8.18
5.6	Meter	1.96～∞	1.64～∞	1.41～∞	1.18～∞	0.99～∞	0.85～6.41
	Feet	6.43～∞	5.30～∞	4.50～∞	3.29～∞	3.10～88.78	2.81～22.42
16	Meter	0.69～∞	0.65～∞	0.61～∞	0.56～∞	0.51～∞	0.47～∞
	Feet	2.28～∞	2.11～∞	1.98～∞	1.85～∞	1.65～∞	1.56～∞

EM-30XL/30 f＝20

Aperture \ Distance							
	Meter	∞	10	5	3	2	1.5
	Feet	∞	30	15	10	6	5
1.2	Meter	25.64～∞	7.19～16.39	4.18～6.21	2.69～3.40	1.86～2.17	1.42～1.59
	Feet	84.12～∞	22.11～46.63	12.73～18.26	8.94～11.35	5.60～6.46	4.72～5.32
2.8	Meter	10.88～∞	5.21～123.82	3.43～9.25	2.35～4.14	1.69～2.45	1.32～1.74
	Feet	35.69～∞	16.30～188.15	10.56～25.87	7.81～13.89	5.14～7.21	4.39～5.81
5.6	Meter	5.44～∞	3.52～∞	2.61～61.91	1.93～6.69	1.46～3.16	1.18～2.07
	Feet	17.85～∞	11.19～∞	8.15～94.07	6.41～22.75	4.49～9.04	3.91～6.95
16	Meter	1.92～∞	1.61～∞	1.39～∞	1.17～∞	0.98～∞	0.84～6.82
	Feet	6.31～∞	5.21～∞	4.44～∞	3.87～∞	3.08～122.39	2.79～24.09

グレーの部分が前頁で比較した被写界深度です。

マクロ撮影用被写界深度表

表中の距離はレンズ面マーク(●)からの距離です。
この表はズームリング上に表示されている距離についてのみ示していますが、その中間でのピント合わせも、もちろん、可能です。

EM-30XL/30

Aperture \ Distance						
	cm	5	10	20	50	100
	inch	2	4	8	20	40
1.2	cm	4.86～5.13	9.70～10.31	19.17～20.88	46.16～54.45	86.86～117.55
	inch	1.94～2.05	3.88～4.12	7.67～8.35	18.46～21.78	34.74～47.02
2.8	cm	4.69～5.32	9.32～10.74	18.16～22.16	41.82～61.67	73.74～152.78
	inch	1.87～2.13	3.72～4.29	7.26～8.86	16.73～24.67	29.49～61.11
5.6	cm	4.40～5.67	8.70～11.58	16.58～24.73	35.79～79.73	58.04～313.38
	inch	1.76～2.27	3.48～4.63	6.63～9.89	14.31～31.89	23.21～125.35
16	cm	3.49～7.24	6.83～15.69	12.26～41.19	22.65～∞	31.33～∞
	inch	1.39～2.89	2.73～6.27	4.90～16.47	9.06～∞	12.53～∞

EM-30XL/30 f＝30

Aperture \ Distance							
	Meter	∞	10	5	3	2	1.5
	Feet	∞	30	15	10	6	5
1.2	Meter	57.69～∞	8.52～12.10	4.60～5.47	2.85～3.16	1.93～2.07	1.46～1.54
	Feet	189.28～∞	25.90～35.65	13.90～16.29	9.50～10.56	5.85～6.20	4.87～5.14
2.8	Meter	24.48～∞	7.10～16.91	4.15～6.28	2.67～3.42	1.85～2.18	1.41～1.60
	Feet	80.30～∞	21.84～47.89	12.64～18.45	8.87～11.42	5.58～6.48	4.71～5.33
5.6	Meter	12.24～∞	5.50～54.68	3.55～8.45	2.41～3.97	1.72～2.39	1.34～1.71
	Feet	40.15～∞	17.17～118.65	10.92～23.95	8.01～13.32	5.22～7.05	4.45～5.71
16	Meter	4.33～∞	3.02～∞	2.32～∞	1.77～9.78	1.37～3.72	1.11～2.30
	Feet	14.20～∞	9.64～∞	7.29～∞	5.87～33.83	4.22～10.39	3.70～7.72

仕　様

EM-30XL

フィルム：スーパー8フィルムカートリッジ
レンズ：サンキョーマクロズームF1.2
　f＝10－30mm
　最近接距離：1.5m
　マクロ撮影：レンズ面より　5cm－150cm
　フィルターサイズ：52φmm（ねじ込み式）
　　　　　　　　　　54φmm（かぶせ式）
ファインダー：一眼レフ式ファインダー
フォーカシング：空中像方式
ズーミング：ズームレバーによる自動ズーム
　（広角⟷望遠約5秒）
　手動ズームリングによる手動ズームが可能です。
フィルム駆動：電動式 1.5Vアルカリマンガン乾電池（AM－3）3本使用
　撮影本数　常温にて10本
　電池は折りたたみ式グリップ内のバッテリ一室に挿入してください。
バッテリーチェッカー：メインダイアル操作、発光ダイオード(LED)点灯
フィルム速度：18コマ／秒および1コマ撮影
シャッター開角度：220°
露出計：CdSメーターによる外部測光式完全自動EE機構
　絞り範囲：F1.2－F32
　絞りダイアルによる手動絞りが可能です。
　露出不足はファインダー内に表示されます。
　露出過度はF値表示窓に表示されます。
フィルム感度：ASA40、160（デイライトフィルム）
　ASA40、160（タイプAフィルム）
　ASA40、160（タイプGフィルム）
　フィルム感度は、カートリッジ装塡により自動的にセットされます。
フィルター：コダックタイプ85を内蔵し、フィルタースイッチにより手動コントロール、ムービーライトソケットにより自動コントロールが可能です。
フィルムカウンター：回転式（順算式、自動復元）
フィルム走行表示：ファインダー内部の丸窓の開閉、フィルム終了シグナルともなります。
グリップ：折りたたみ式（バッテリー格納）
電子制御アクセサリーソケット：
　ユニバーサルタイマー、セルフタイマー、ラジオコントロール、リモートコントロール接続
その他：(1)電源スイッチ兼用メインダイアル
　(2)三脚取付けネジ穴、ムービーライトソケット（JIS B7103、¼－20UNC）
　(3)アクセサリーシュー（JIS B7101）
寸法：197.5(長さ)×99(高さ)×54.5(巾)mm
重量：600g
付属品：リストストラップ、レンズキャップ
別売りアクセサリー：レンズフード
　ユニバーサルタイマー
　セルフタイマー
　ラジオコントロール
　リモートコントロール
　キャリングケース

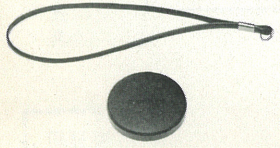
EM-30

レンズ：サンキョーマクロズームF1.8 f＝10－30mm
　最近接距離：1.5m
　マクロ撮影：レンズ面より　5cm－150cm
　フィルターサイズ：52φmm（ねじ込み式）
　　　　　　　　　　54φmm（かぶせ式）
露出計：CdSメーターによる外部測光式完全自動EE機構
　絞り範囲：F1.8－F32
　露出不足はファインダー内に表示されます。
その他の仕様についてはEM-30XLと同様です。

アクセサリー

付属品

リストストラップ



レンズキャップ
SLC-535

別売りアクセサリー

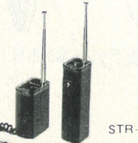
ユニバーサルタイマー

STC-632

セルフタイマー

STC-633

ラジオコントロール



SWR-101　STR-101

リモートコントロール

SRS-431

レンズフード

SFD-534

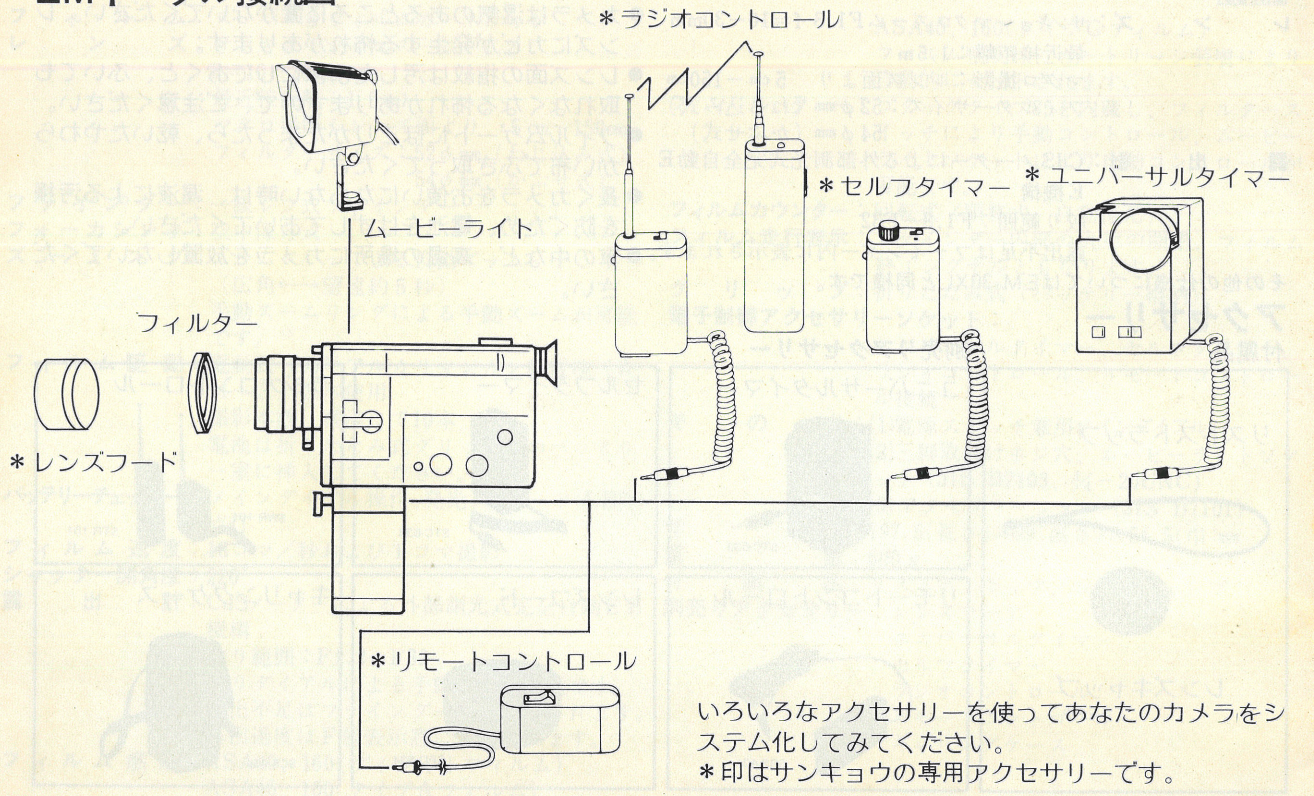
キャリングケース

SCB-034

お手入れと保存

- カメラは湿気のあるところに置かないでください。レンズにカビが発生する怖れがあります。
- レンズ面の指紋は汚したままにしておくと、ふいても取れなくなる怖れがありますので、ご注意ください。
- フィルムゲートにほこりがたまったら、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- 長くカメラをお使いにならない時は、漏液による汚損を防ぐため、電池をはずしておいてください。
- 車の中など、高温の場所にカメラを放置しないでください。

EMトータル接続図



いろいろなアクセサリーを使ってあなたのカメラをシステム化してみてください。
＊印はサンキョウの専用アクセサリーです。

アフターサービスについて

1．ご愛用の皆様から当社の製品のご質問、ご相談、修理、その他のアフターサービスを承りますので、各地のサービスセンターまたは営業所をお気軽にご利用ください。

2．保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

3．撮影の失敗、カメラの故障を防ぐために
①取扱い説明書を十分にお読みの上ご使用ください。
②特に重要なフィルム（結婚式、新婚旅行、海外旅行、業務用）等はカメラに慣れるため、事前に試写していただき、点検を十分に行い、失敗の未然防止を図ってください。
③雨天、海岸、火山等は水滴、ガス等によってサビの原因にもなりますので、ご使用後の手入れを十分行ってください。
④カメラはケースに入れてお持ち歩きください。振動、ショックを与えますと故障の原因になることが考えられます。

4．本製品の補修用性能部品は、10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。尚、本期間後であっても修理可能の場合もありますので、お買い上げ店か、直接最寄りのサービスセンター、営業所に現品をご持参の上ご相談ください。ご持参できない場合は、故障内容を明示の上書留小包便にてご送付ください（保証期間内の場合は保証書を添付してください）。
＊なお故障の状態によっては、事故となったフィルム等を添付されると、修理作業の参考になります。

各地の営業所及びサービスセンター

東京サービスセンター	：東京都港区新橋１－17－２ 〒105 TEL：03－502－3711（代表）
大阪支店	：大阪市西区新町１－４－21（大幸ビル） 〒550 TEL：06－538－1371（代表）
名古屋支店	：名古屋市千種区若竹町４－15（浅井ビル） 〒464 TEL：052－733－1721
福岡営業所	：福岡市博多区博多駅中央街４－14 〒812 TEL：092－431－7415
札幌営業所	：札幌市中央区北二条東3－2（札幌セントラルビル） 〒060 TEL：011－271－7765
諏訪営業所	：長野県諏訪郡下諏訪町5329 〒393 TEL：02662－７－3111

保証書について

「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまに直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名および住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された「保証書」を必ずお受け取りください。
「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入後１年以内の無償修理を受けられないことになりますのでご注意ください。もしお受け取りにならなかった場合には、直ちにご購入店に請求してください。
「ご愛用者アンケートカード」は、必要事項をご記入のうえ投函してください。

本機の外観、仕様は予告なく変更することがあります。

S54.6.17 カメラのドイ 渋谷店

¥26,300

AIU 補償保険加入
期間5年 S54.6.17

三協精機

Sankyo

株式会社三協精機製作所

東京事務所　東京都港区新橋１－17－２
〒105　TEL：03－502－3711（代表）

本社・下諏訪工場　長野県諏訪郡下諏訪町５３２９
〒393　TEL：02662－７－3111（代表）

ニューヨーク、ロスアンゼルス、デュッセルドルフ、ホンコン、クアラルンプール

KZE-2300A